

小学校・中学年編 第2部 5 「係のこと」

- 1 学年 第3学年
- 2 主題名 「信頼友情」
- 3 内容項目 2 - (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- 4 テーマ C 人を思いやる心、人とのつながり
- 5 主題設定の理由
 - (1) ねらいとする価値
ひとは、顔形や性格が違っているだけでなく、それぞれの意見や考え方にも違いがある。自分の意見や考えをしっかりと話し、相手の意見や考えも尊重しながら聞くことで、相互理解や信頼が生まれ、協力し合えるのである。
一部の児童だけでなく、一人一人の思いの上に学級が成り立っていることに気付くためには、みんなが自分の意見や考えを發表し、みんながそれらに耳を傾けることが大切である。そのことが、互いに理解を深め真の友達であることに気付くことになると思う。
 - (2) 児童の実態
低学年から中学年となり、言われたことは一生懸命するが、まだ自分たちの話し合いのもとに学級を作っていくという自覚が少なく、人任せになっていたり、何をどのように言っているのか分からない児童が多い。そのため、発言力のある児童の言い分が通ってしまい、思っていることを言えずに終わってしまうことがある。
 - (3) 資料について
本資料は、「ハッピー係」と名付けられた遊び係の作者が、意見の相違からくるもめごとや不満がある中でも、遊びを通してみんながハッピーになれるよう、係の活動を頑張っていきたいとする作文である。
係活動の中でも、遊び係は児童の好みや得意分野の違いから、クラス遊びを運営していくのが難しく、加えて遊びを始めるにあたって、なかなか協力が得られず苦勞している姿がよく見られる。そのため、本学級では一年を通して、すべての児童に一度は遊び係を経験させる計画で、係の分担を決めている。
本資料を今までの遊びを運営する側と協力する側の双方の振り返りの機会とし、より一層の信頼関係、協力関係を育てていきたい。
- 6 本時のねらい
自分の意見や考えをしっかりと伝え、友達の意見や考えもしっかり受け止め、互いに信頼し合える学級をつくっていかうとする気持ちを育てる。
- 7 授業改善の視点

心のノートの活用

「正しいことは勇気を出して」「相手の気持ちを考えて親切に」「友達と仲よく助け合って」などを活用し、考えや意見をしっかりと伝えようとする気持ちや、友達の気持ちを受け止めながら考えや意見を聞こうとする態度を考えさせる。

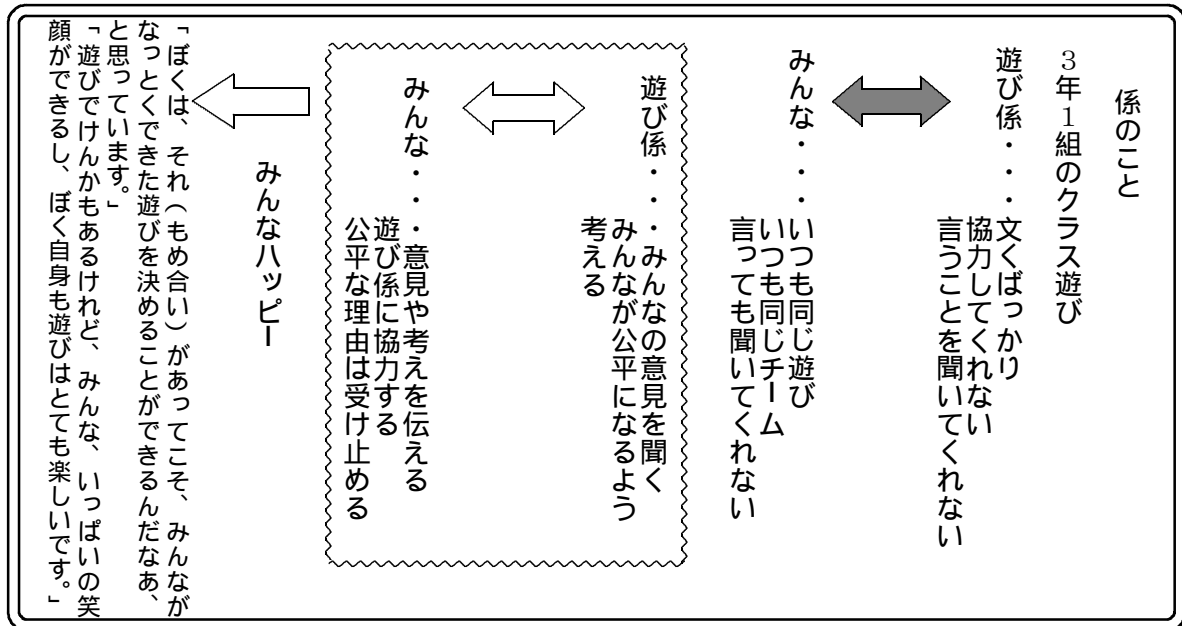
ペアでの話し合い

各教科でも取り入れているペアでの話し合いを取り入れることで、全体の前で発言しにくい児童も意見や考えを言える場として設定する。

8 本時の展開

過程	学 習 活 動	主 な 発 問 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料・評価等
導 入	1 みんなが意見や考えを発表できているかを考える。	なぜ意見や考えをみんなの前で言えないのでしょうか。 ・みんながどう思うか心配。 ・聞いてくれないから。 ・どう言っているのか分からないから。	・事前に心のノートに記入しておくことで考えを整理し、発言しやすくする。	心のノート P22
展 開	2 資料の前半を読み、クラス遊びでもめ合いになった経験を話し合う。 3 資料の後半を読み、ぼくの考え方について話し合う。	今までクラス遊びが上手いかなかったことは、どんなことですか。 ・チームを決めたら、文句ばかり言う。 ・「集まって。」って言ってるのに、遊んでなかなか集まってくれない。 ・いつも同じチームの組み合わせばかり。 ・いつも同じ遊びばかり。 「ぼくは、それ(もめ合い)があつてこそ、みんながなっとくできた遊びを決めることができるんだなあ、と思っています。」「遊びでけんかもあるけれど、みんな、いっぱい笑顔ができるし、ぼく自身も遊びはとても楽しいです。」と書いてありますが、みなさんはどう思いますか。 ・言っても遊び係が言うことを聞いてくれない。 ・上手いきそうな方法を考えても文句ばかり言うてくる。 では、お互いがどうしていけば、ぼくのように思えるようになるでしょうか。 ・係として公平にみんなの意見を判断していく。 ・自分がしたいことが通らない時に、文句ばかり言わない。 ・思っていることがあれば、しっかりと伝える。	・遊び係とそうでない児童と両方の思いを発言させる。 ・言いたくても言えないことや、言ったもの勝ちなどの理由で、全員が作者の考えに同意しきれないことに気付かせる。 ・ペアで話し合いをさせて、率直な意見を言いやすくする。 ・思いを伝えることと文句との違いを考えさせる。	係の立場とそれ以外の立場とでお互いを尊重し合えることが大切であると気付いたか。
終 末	4 資料の「おうえんメッセージ」を読み、今日の感想を書く。	今日の話し合いで思ったことを書きましょう。		感想用紙

9 板書計画



10 児童の反応等

もめ合いを生かすためには、遊びをする時間がなくなるからといって、もめ事を流さずに、みんなで話し合つてかい決していけばいいと思った。そしたら、ハッピー係と同じようにいい係になるだろうし、クラスみんなも笑顔でハッピーになると思った。

わたしは、言いたいことがはっきり言えません。だから、はっきり言えるようにがんばりたいです。
みんながなっとくする遊びをするためには、ゆう気がなければいけないので、ゆう気を出したいです。

言いたいことを伝えたら、すぐにおこったりする人の気持ちもぎゃくに聞いてあげようと思ひました。そしてみんなも遊び係に協力しなければいけないと思ひました。みんながハッピーな気持ちになれるクラスにしたいなと思ひました。

もめ合いをハッピーにかえるためには、文くではなく、思つたことを言つて、「じゃあ、こうしようよ。」「いいよ。」と遊びを楽しみ、みんなの心が一つになるようにがんばつたらいいと思つた。

ゆう気がない人をゆう気がある人がささえたら、たくさんの方がゆう気を持てると思う。もめ事を小さくしようとせず、もめ事をかくそうとせず、たくさん意見を出し合つていけばいいと思う。



なぜ 勇氣を出せないのだろう？

「正しい」と分かっている、なかなか実行できない自分……。正しいと思ったおりのことが、なぜ、できないのでしょうか。

3年生、4年生の友だちは、勇氣を出せなかったわけをこのように話しています。

「こんなことを言うと、みんなはどう思うかな？」 ※自分にも当てはまるものがあるかなと、気になるから。 に○をつけてみよう。

反対すると、仲間はずれにされそうで、心配だから。

いけないと分かっている、楽しくてやめられないから。

自分が言っても、みんなが聞いてくれないと思うから。

言い出すきっかけが見つからないから。

そのほかに、自分はどんな気持ちになることがあるか、書いてみましょう。

ぎゅぐゅとつぶやくとこわいから

けんかになると自分がきらいから

……どうすれば、この気持ちを取りこえられるのだろう。考えてみよう……。

なぜ 勇氣を出せないのだろう？

「正しい」と分かっている、なかなか実行できない自分……。正しいと思ったおりのことが、なぜ、できないのでしょうか。

3年生、4年生の友だちは、勇氣を出せなかったわけをこのように話しています。

「こんなことを言うと、みんなはどう思うかな？」 ※自分にも当てはまるものがあるかなと、気になるから。 に○をつけてみよう。

反対すると、仲間はずれにされそうで、心配だから。

いけないと分かっている、楽しくてやめられないから。

自分が言っても、みんなが聞いてくれないと思うから。

言い出すきっかけが見つからないから。

そのほかに、自分はどんな気持ちになることがあるか、書いてみましょう。

ぼうりやをふるわれそうでこわいから。

おいこまれるから。

……どうすれば、この気持ちを取りこえられるのだろう。考えてみよう……。